

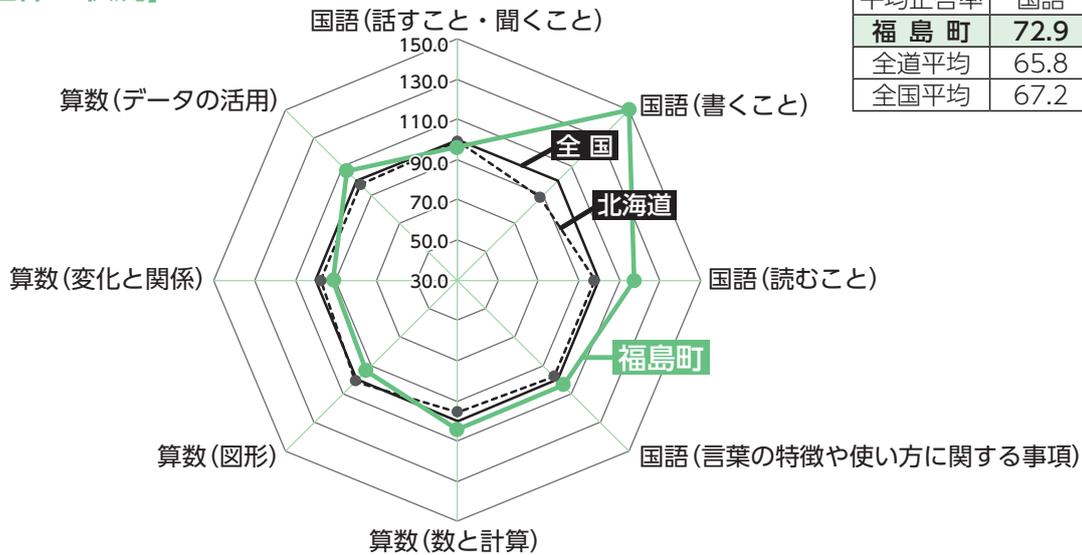
令和5年度 全国学力・学習状況調査

福島町立学校の結果をお知らせします

令和5年4月18日(火)に、全国の小学校6年生と中学校3年生を対象として「令和5年度全国学力・学習状況調査」が実施されました。福島町の結果についてお知らせします。

■福島町小学校の状況（小学校数：1校、児童数：10人）

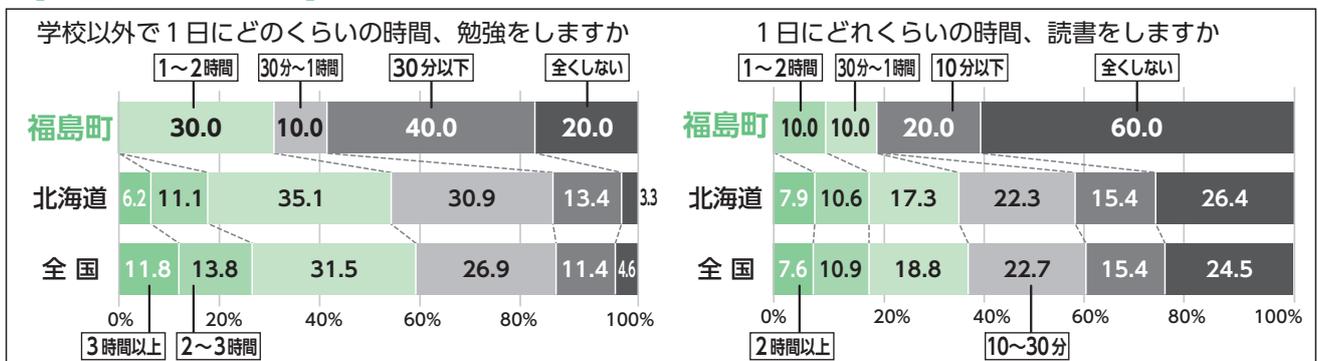
【教科全体の状況】



教科の領域別に全国を100とした場合の全道および福島町の状況をレーダーチャートで示したものの

国語	<ul style="list-style-type: none"> 書いた文章の感想や意見を学級の友達と伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける学習活動の充実を図ったことにより、国語の「書くこと」の領域で、平均正答率が全国および全道平均を大きく上回ったと考えられます。 「話すこと、聞くこと」の領域において、必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことを中心をとらえることができるよう学習を進めます。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 提示されたデータから正確に情報を読み取る学習や、数量や図形について実感を伴った理解をする活動を行ったことにより、「数と計算」・「図形」の領域で全国の平均正答率を上回ったと考えられます。 昨年に引き続き、「変化と関係」の領域に課題があり、比例の意味や性質、グラフの求め方などが理解できるよう学習します。
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 基礎的な知識・技能の定着を図るため、計画的な授業改善に取り組みます。 ◎ 児童が主体的に学び、意欲的に学習することができる授業づくりに取り組みます。 ◎ ICT教育を推進するとともに、放課後学習や長期休業中の取り組みを強化します。

【児童質問紙の状況】



- ・学校以外での1日の勉強時間について、1時間以上という回答が30%で、全国および全道より20%以上少ない結果でした。
- ・1日の読書時間について、30分以上と答えた児童は20%で、80%は10分以下という回答でした。
- ・上記の2点から、タブレット端末などを利用した家庭学習や『うちどく』を通じた読書活動の推進を図ります。